

4 - 2 伊豆半島付近の地震活動 (1982年3月～5月)

Seismic Activity in and near the Izu Peninsula (March - May, 1982)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

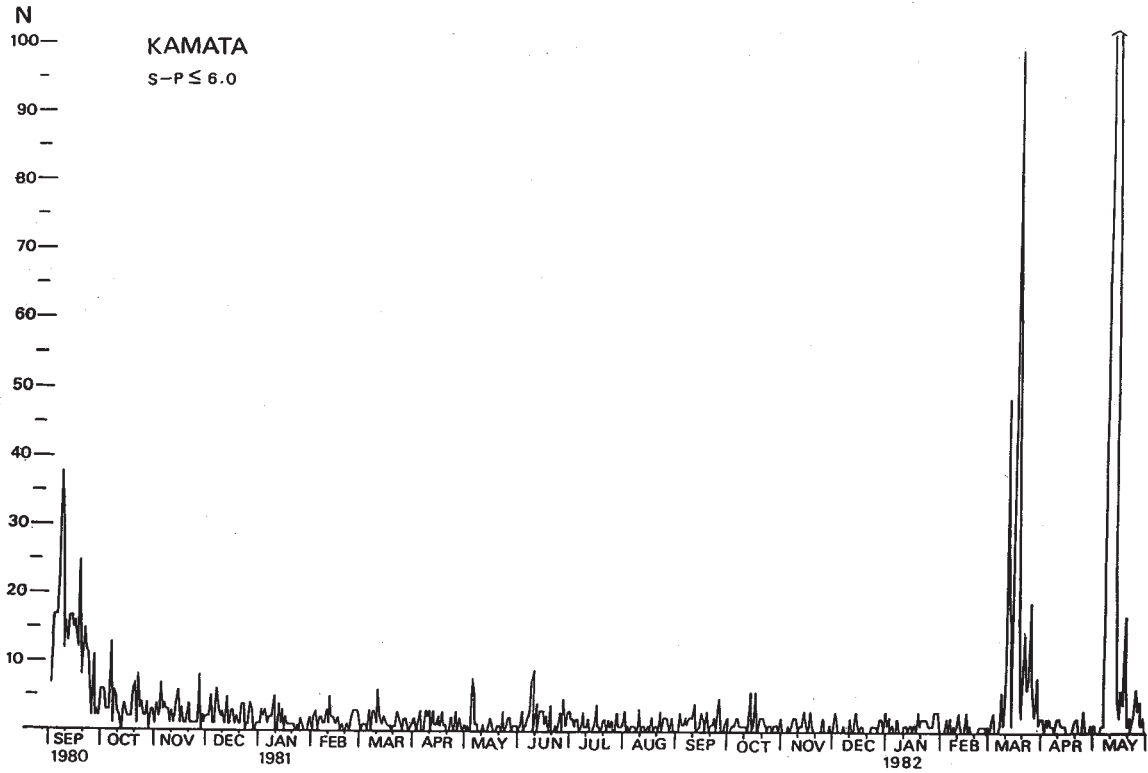
伊豆半島付近の地震活動は1980年の活動以後低調であったが、今年3月と5月に伊豆半島東方沖で微小地震が群発し活動がやや活発になった。第1図は最近の鎌田におけるS - P6.0秒以下の地震の日別回数であり、第2図は鎌田において観測を開始した1976年10月以後の地震の旬別回数である。

3月の活動は、10日頃から伊豆半島東岸（伊東沖）付近で微小地震が発生しはじめ、11日には鎌田で約50回、16日には100回の地震が観測された。その後次第に減少して3月末頃にはほぼこれまでの状態に戻った。

3月10日から31日までの間に起った地震の震央を第3図に黒丸で示してある。地震の規模は全般に小さく、マグニチュード2.2（暫定）の地震が最大で、大部分が2.0以下であった。震源の深さは極めて浅くいづれも10Km以下であった。第4図は3月10日から31日までの鎌田におけるS - P6.0秒以下の地震の時間別地震回数である。

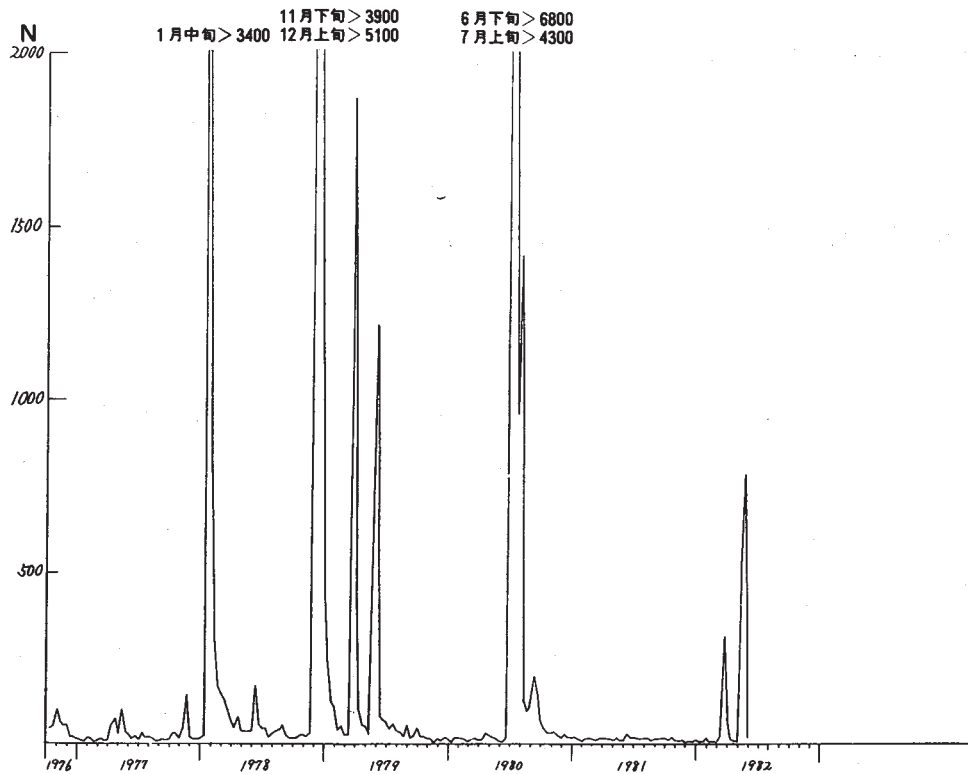
5月に入って7日頃から伊東沖付近で再び活動が活発になり、11日には鎌田における地震回数が600回を超えた。その後、この海域の地震は急速に減少したが、12日22時頃から13日4時頃にかけて伊豆大島南西沖の利島付近で20回余りの地震が観測された。また、15日から16日にかけて三浦半島沖に数回の地震が観測された。これらの地震の震央を第3図に白丸で示してある。5月の伊東沖付近の地震の活動域は、3月の場合に比べやや沖合にでており、活動もより活発であった。しかし地震の規模は全般に小さく、マグニチュード2.1（暫定）が最大であった。これに対し、利島付近の地震の規模は全般にやや大きく、マグニチュード2.7の地震が最大であった。第5図は5月7日から19日までの鎌田におけるS - P6.0秒以下の地震の時間別回数である。

今回の活動は、第2図にみられるように1978年の伊豆大島近海地震（1月）および川奈崎沖の群発地震（11月～12月）、1980年の伊豆半島東方沖の群発地震の活動に比べればはるかに規模が小さいものであった。



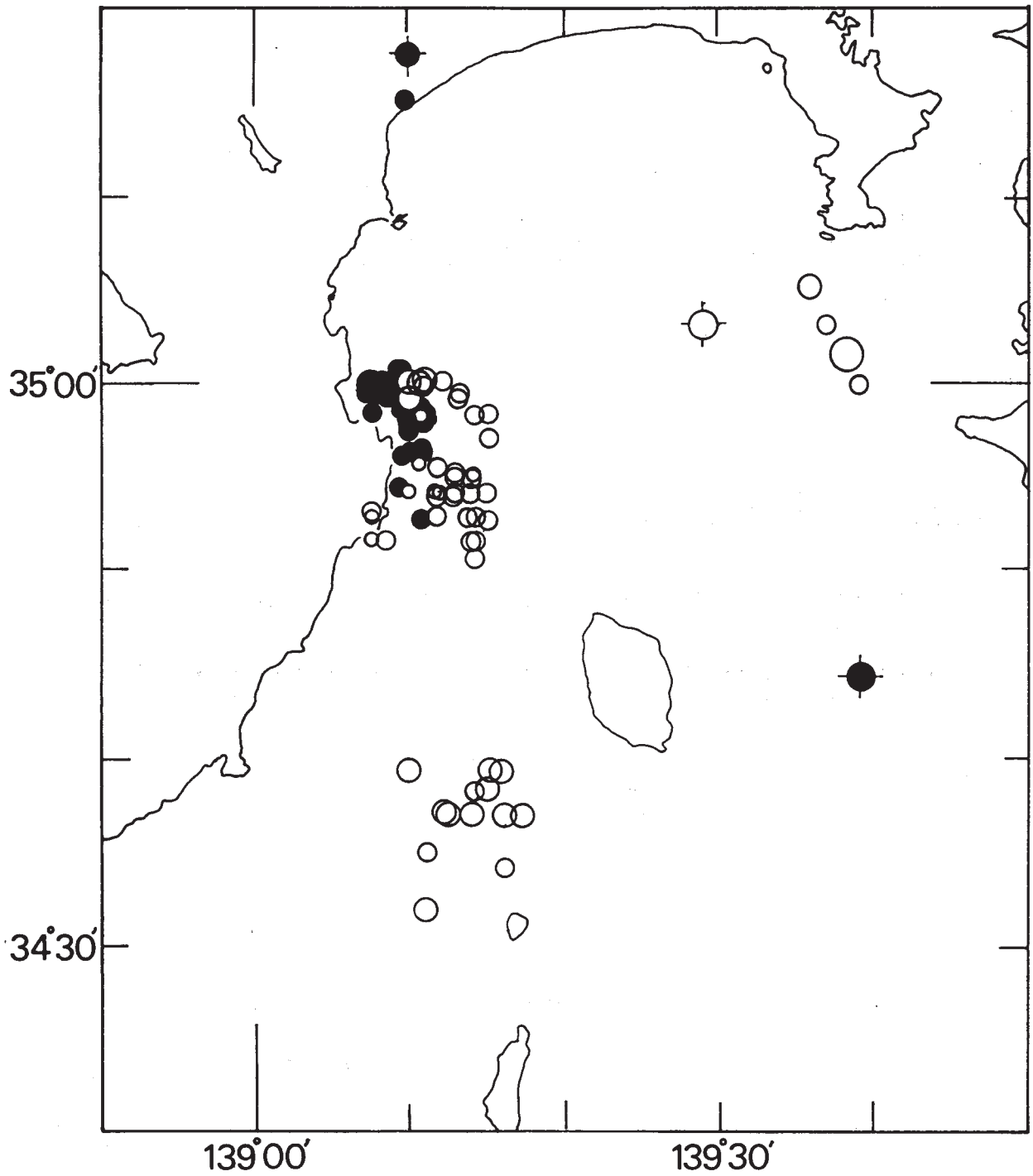
第1図 鎌田（伊東市）における日別地震回数（S - P ≤ 6.0 秒）

Fig. 1 Daily number of earthquakes at Kamata (S - P ≤ 6.0 sec).



第2図 1976年10月以後の鎌田における旬別地震回数（S - P ≤ 6.0 秒）

Fig. 2 Number of earthquakes of the every ten days at Kamata after October, 1976 (S - P ≤ 6.0 sec).

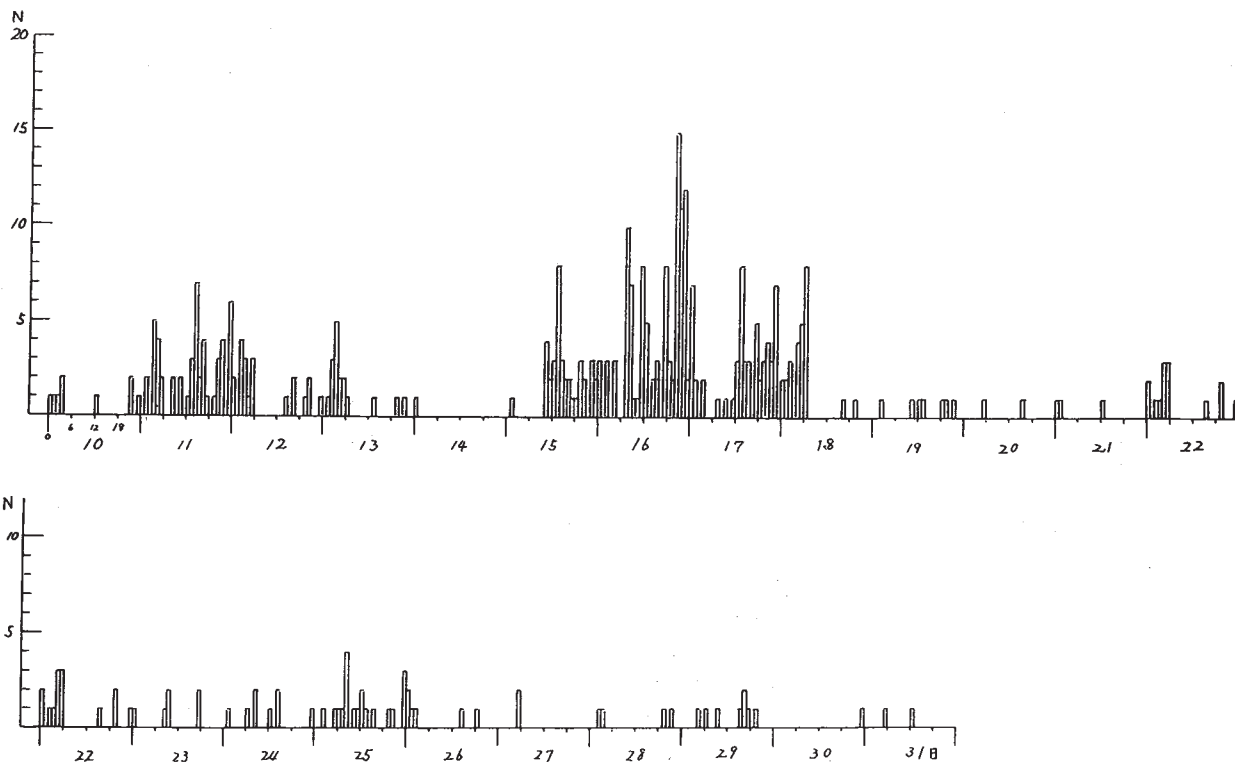


第3図 1982年3月および5月の伊豆半島東方沖の群発地震の震央分布

- 3月(10~31日)の地震
- 5月(7~19日)の地震
- ⊕ 震源の深さ100Km以上の地震

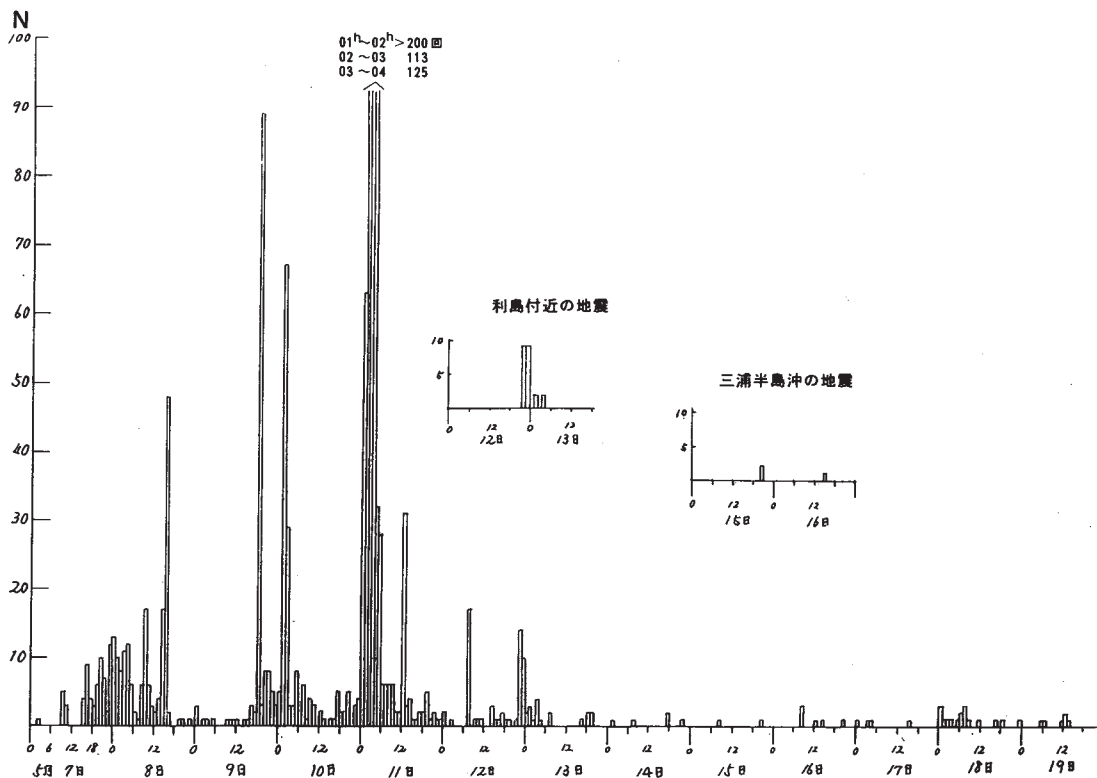
Fig. 3 Distribution of epicenters of earthquake swarms off the east coast of Izu Peninsula, March and May, 1982.

- Epicenters of earthquakes occurred on March 10-31.
- Epicenters of earthquakes occurred on May 7-19.
- ⊕ Depth of hypocenter $h \geq 100$ km.



第4図 1982年3月の伊豆半島東岸付近の微小群発地震の鎌田における時間別回数 ($S - P \leq 6.0$ 秒)

Fig. 4 Hourly number of microearthquakes occurred near the east coast of Izu Peninsula, March 10-31, 1982 ($S - P \leq 6.0$ sec at Kamata).



第5図 1982年5月の伊豆半島東方沖の微小群発地震の鎌田における時間別回数 ($S - P \leq 6.0$ 秒)

Fig. 5 Hourly number of microearthquakes occurred off the east coast of Izu Peninsula, May 7-19, 1982 ($S - P \leq 6.0$ sec at Kamata).